

1-2月実施入学試験受験者心得

1. 口述試験日程

口述試験実施場所	自宅等 (harutaka を用いたりリモート入試)
予行演習	1月21日(火)
資料アップロード期限(任意)	1月22日(水)
口述試験	1月29日(水)
再試験	1月29日(水)午後

2. 集合時間等

1月29日(水)

集合時間	試験室 A	試験室 B
8:55	45SQ11002	-
9:10	-	45SQ11001
9:40	45SQ11003	-
9:55	-	85SQ62002
10:25	45SQ41003	-
10:40	-	45SQ41001
11:10	85SQ61001	-
11:25	-	45SQ41002
13:25	85SQ61002	-
13:40	-	85SQ62001
14:10	45SQ12001	-

試験用 URL と資料アップロード用 URL を1月9日(木)に筑波大学 <no-reply@harutaka.jp> からメールでお送りします。メールが来ない場合は、下記の連絡先までお知らせください。

3. 受験者の準備

- (1) 試験中は1人になれる、明るく静かな部屋で受験してください。試験中は受験者以外の人の立ち入りを禁止してください
- (2) 受験票、写真付きの身分証明書、筆記用具などを手元に用意してください
- (3) アングルが調整可能なカメラ(内臓または外付け)付パソコンを使用してください(スマートフォン・タブレットは不可)。なお、Chrome Book は使えません。映像がぶれないようにパソコンは机等の上に置き、外付けカメラはスタンドなどで固定してください。周辺環境の確認のため、試験前にカメラで受験者の周囲 360 度(全周)を映してもらいますので、カメラを動かして全周が撮影できるようにしておいてください
- (4) イヤホン、ヘッドセットの利用は認めません。試験中はマスク等を外してください
- (5) パソコンモニターの周囲を確認するための大きめの「手鏡」を用意してください
- (6) トラブルが生じたときのために、携帯電話または固定電話を用意してください。携帯電話やスマートフォンにテザリング機能がある場合は、インターネット接続が不安定になった場合にインターネット接続の代替手段として使用できます。あらかじめ機能の有無や接続手順を確認しておくことをお勧めします
- (7) マルチディスプレイは使わないでください。補助機器としてのタブレットの使用も認めません。説明に使用しないソフトウェアの使用も禁止です。説明用の読み上げ原稿などの受験用参考資料、質疑用のメモ用紙や筆記道具、時計やストップウォッチを持ち込むことは可能です
- (8) パソコンの OS・ブラウザが、入試で使用する面接ツールの harutaka に対応しているか、事前に確認してくだ

さい(<https://harutaka.jp/faq/candidate/spec10831>)プレゼンテーションでは、harutaka に接続する機器の画面を共有する方式を利用します。

- (9) Mac OS の場合、事前に画面共有の許可をしておく必要があります。「セキュリティーとプライバシー」画面から、「プライバシー」をクリックして、左側メニューの下方にある「画面収録」を選択し、設定を許可してください

4. 受験当日

- (1) 室内の試験に関係のない電子機器の電源やアラームを切り、試験と関係のないものをできるだけ片付けてください。使用しない PC やそれらのモニターも電源を切ってください
- (2) マスク等を外し、顔と耳が見せられる状態にし、上半身が映るようカメラ位置を調整してください。バーチャル背景やぼかし機能は使わないでください
- (3) 説明に必要なソフトウェア以外の使用を禁止します。試験中に外部との連絡や外部からの情報収集が確認された場合は不正行為とみなします
- (4) 指定された集合時間の 5 分前に試験用 URL にアクセスし、マイク、ビデオのチェックを済ませたのち、「ライブを開始」ボタンをクリックして面接ルームに入室してください。試験員の面接ルーム入室をしばらく待っててください。試験の実施状況によっては、試験員の面接ルーム入室が集合時間より遅れる可能性があります
- (5) 試験員は、最初に試験環境が適切かどうかを確認します。試験員の指示に従ってカメラを動かし、周囲 360 度(全周)を映して受験者以外がその場にはいないこと、外部との通信手段がないことを確認しますので、「3.受験者の準備」を事前によく確認してください
- (6) 試験員の指示に従って、受験票を見せながら受験番号と氏名を申告し、最初の 15 分程度で研究計画の説明をしてください。画面共有機能が使用できます。説明用フリップ等を用いてもかまいませんが、あらかじめ録音・録画したものを再生するような説明方法は認めません
- (7) 試験員の説明が聞き取りにくい場合などは、遠慮なく申し出てください。それが困難な場合は電話で試験場本部に連絡してください
- (8) システムに問題が生じた場合は、画面左下の「再接続」ボタンをクリックする、ブラウザを再起動してもう一度つなぎ直す、PC を再起動するなどを試みてください。それでも問題が解消しない場合は電話で試験場本部に連絡してください。事故による切断は発表時間にも評価にも影響しません
- (9) 試験の録音・録画、SNS 等での公開を禁止します

5. 予行演習

- (1) 1月21日(火)に予行演習(接続テスト)を行います。実際の進行状況を確認するため、必ず参加してください。予行演習では、harutaka での接続と、画面共有方法の確認などを行います。割り当てられた時間内であればいつでもテスト可能ですが、同時に複数の受験生がアクセスしているときは待つことになります
- (2) 試験用 URL にアクセスし、マイク、ビデオのチェックを済ませたのち、「ライブを開始」ボタンをクリックして面接ルームに入室してください。試験員の面接ルーム入室をしばらく待っててください
- (3) 試験員は、最初に試験環境が適切かどうかを確認します。「3.受験者の準備」を事前によく確認し、準備しておいてください
- (4) 試験当日に使うツール(パワーポイント、説明用フリップ等)のサンプルを用意し、試験員にきちんと見えることを確認してください

予行演習(接続テスト)時間: 1月21日(火)

時間	受験番号
9:15-10:15	45SQ11001~45SQ41001
10:15-11:15	45SQ41002~45SQ41003, 85SQ61001~85SQ62002

6. 説明資料のアップロード

- (1) 説明に使用するパワーポイントや PDF のファイル、配付したい資料等は、A4 判 10 ページ以内のひとつの PDF ファイルにして 1月22日(水)までにアップロードしてください。アップロードできるのは1回のみなので間

違えないように注意してください。PDF ファイル内のわかりやすいところに受験番号と氏名を含めておいてください

- (2) アップロードするファイルの名前は「受験番号」としてください
(例) 受験番号「24FW00987」であれば、ファイル名を「24FW00987.pdf」としてください
- (3) 説明資料の PDF ファイルは、画面共有によるプレゼンテーションができないときや映像の解像度が不十分だったときなどでも試験ができるよう、印刷して試験員に配布されます。アップロードされた資料が 10 ページ以上の場合、先頭の 10 ページ分のみが配布されます
- (4) スライドをアップロードする場合、A4 判用紙にスライド 2～6 枚を割り付けた PDF ファイルとしてもかまいません。プレゼンテーションソフトウェアを使わず、フリップや実物、動画を使って説明する人は、フリップや実物の写真、動画のスチルを適切なサイズで A4 判に割り付けた PDF ファイルをアップロードしてください

7. 受験上の注意事項

- (1) メールアドレスや電話番号が出願時と異なる場合は、下記の連絡先までお知らせください
- (2) 試験当日、ネットワーク等のトラブルで接続できない場合は、下記の連絡先まで電話連絡してください。連絡なしに集合時間の 10 分後までに接続できなかった場合は、欠席とみなします
- (3) 試験が円滑に実施できるように最善の努力を払いますが、問題が生じて予定の試験時間内に復旧できなかった場合は、1 月 29 日(水) 午後に再試験を行います

8. 連絡先

筑波大学図書館情報エリア支援室・大学院教務

電話 029-859-1120 (試験日以外: 平日 9:00～17:00, 12:15-13:15 を除く)

メール tosyoss-daigakuin#@#un.tsukuba.ac.jp (#を削除してください)

筑波大学情報学学位プログラム試験場本部

電話 029-859-1170 (入試当日: 8:00～17:00)

(2025.1)